

# 広がる成長支援の担い手

～「職員」の力を生かす～

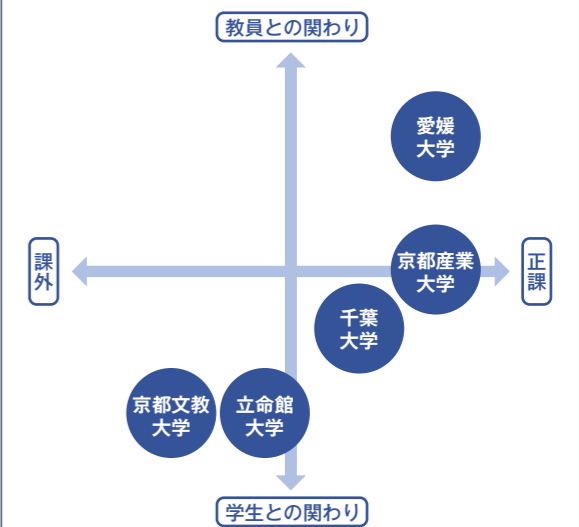
グローバル化への対応、ユニバーサル化による学生の質の変化、キャリア支援の比重の増大、エビデンスベースの教育成果向上など、従来のアカデミズムの視点では対応が難しい課題が増え、新しいアプローチでの成長支援が求められるようになってきている。実際に、教授法などを専門的に学んだ職員出身の「新しいタイプの教員」や専門性の高い職員が正課教育を支援したり、意識の高い職員が課外活動の活性化に関わるケースなどが見られる。このような形で成長支援の担い手を広げ、人材育成の総合力を高める意義について考える。

## 職員による成長支援

大学現場からの意見  
秦敬治氏

中教審の議論の解説  
篠田道夫氏

## 5大学の事例



## CONTENTS

- **オピニオン** 大学教育に職員が関わる意義  
秦敬治副学長（追手門学院大学）…………… p.4
- **解説** 職員を巡る議論の現在  
篠田道夫教授（桜美林大学）…………… p.6
- **事例①** 授業設計の専門家による教学支援  
愛媛大学…………… p.9
- **事例②** 履修指導、授業改善を担う新ポスト  
千葉大学…………… p.12
- **事例③** FD専門の職員による授業アンケートの改善  
京都産業大学…………… p.14
- **事例④** 学生FD活動を職員が先導  
京都文教大学…………… p.16
- **事例⑤** 職員の意識を高めるしくみ  
立命館大学…………… p.18